

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	国の重要文化財「坂戸橋」地域活性化事業
事業主体 (連絡先)	中川村教育委員会 上伊那郡中川村片桐 4757
事業区分	(4) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	5,781,633 円 (うち支援金 : 3,978,000 円)

#### 事業内容

国の重要文化財となった「坂戸橋」をキーワードに、地域の重要文化財である坂戸橋の学習を進めるとともに、地域の貴重な財産である「坂戸橋」を行政、地域住民が一体となり地域活性化を図る。

隣接する坂戸公園で、小学生を対象としたスラックライン教室の開催や、坂戸橋のことについて学ぶ公民館講座、郷土を学ぶ会の開催した。また、坂戸橋を広く知ってもらえるよう、PR動画やパンフレット、懸垂幕や看板の作成を行った。

地域住民とともに坂戸橋周辺の環境整備を行ったほか、坂戸橋の改修工事に併せて、桜の木の伐採も行った。

#### 事業効果

坂戸橋に親しむことで、これまでは「道路橋」だったものが、重要文化財「坂戸橋」へと地域住民の意識付けのきっかけを創ることができた。

また、PR動画やパンフレットの作成により、地域住民だけでなく、地域外の人にも「坂戸橋」をアピールするツールが出来た。

併せて、坂戸橋を大切にしていこうという機運が高まり、坂戸橋保存会が発足され、坂戸橋の修繕と併せて周辺環境整備も積極的に行われた。

#### 今後の取り組み

新型コロナの感染拡大により郷土を学ぶ会の現地見学講座と、坂戸橋の改修工事の進捗状況が合わずに開催できなかつたため、来年度以降通行止めの期間中に現地を見学する講座を開催したい。また、全国から参加者を募るさわやかウオークも中止となってしまったため、村外者へのPRが十分ではなかつた。PR動画やパンフレットを活用し、村外者へのPR活動を今後強化していくことが必要と考える。

坂戸橋の案内看板や懸垂幕の作成、桜の伐採は行ったものの、新たな桜を植栽する活動が未実施のため、次年度以降地域住民とともに坂戸橋の周辺環境整備活動を継続して行う必要がある。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【小学生ふるさと教室スラックライン教室】

#### 【目標・ねらい】

①坂戸橋に係わる学習や景観整備、イベントを開催し、坂戸橋に対する認識を高め、持続可能な地域活性化を目指す。

#### ※自己評価【B】

#### 【理由】

坂戸橋保存会が設立し、桜の木の伐採、坂戸橋に関連するPRグッズを作成することができた。今後はこれらを利用した積極的なPR活動が望まれる。